

NO. 23 シリーズ講座～産業・組織心理臨床基礎研修（全 7 回） 第 2 回 産業・組織心理臨床における個人と組織へのアプローチ

1. シリーズ講座の目的

このシリーズ講座は、産業・組織心理臨床の初学者またはこれから産業・組織心理臨床へ参入を希望する方を対象とした基礎的な研修会です。

産業領域のフィールドは、企業組織だけではなく、地方自治体・警察・団体組織などをも対象とするようになりました。また臨床心理士が組織に関わる必要性はどの領域でもあるのですが、産業領域においては、特に強くそれが求められます。

この講座の主な目的は、以下のようになります。

- 1 産業・組織領域での臨床心理士が、閉鎖的な心理主義に陥らないように、様々な他領域の視点から幅広く学ぶ。
- 2 他領域・他職種との連携で成り立ち、いきいきと活性化する産業・組織心理臨床を目指す。
- 3 産業・組織心理臨床において、組織に関わるスタンスの重要性を実践的に理解する。

2. 今回の講座の内容等

産業・組織心理臨床では個人向けのアプローチと、組織向けのアプローチの両面について習熟している必要がある。個人向けのアプローチには、カウンセリングだけではなく、職場復帰支援や上司へのコンサルテーションなどの幅広い内容が含まれる。一方、組織向けのアプローチには企業研修、質問紙調査による組織分析とコンサルテーション、全体的なストレス対策への提言などが含まれる。

この講義ではまず、7回の講義全般の背景となる「職場のメンタルヘルス対策の現状と基礎知識」について、網羅的に整理して伝える。

次に、昨年労働安全衛生法改正により義務化された「ストレスチェック制度」について説明し、ストレス調査票を用いた個人と組織へのアプローチについて学習する。

最後に「企業研修の進め方」をテーマとして、企業研修の企画・実行を通して組織にアプローチする方法を学習する。

「ストレス調査票」「企業研修」のテーマについては、議論、ロールプレイ、試行など、少人数でのグループワークによる学習を行い、知識の習得だけでなく、体験的な学習もできる機械としたい。

3. 講師 種市 康太郎 （桜美林大学）

4. 日時 平成 27 年 8 月 30 日（日曜日）10:30～16:30（10:15 開場）

5. 会場 文京区本郷 2-27-8 太陽館ビル 202 号室（財）日本心理研修センター研修室

6. 参加費 会員・院生 6,000 円、非会員 7,000 円
<全 7 回一括申し込みの方：1 回分無料となります>

7. 募集対象・人数 産業・組織心理臨床で働くことを希望する臨床心理士/大学院生

シリーズ全体の構成・テーマ・講師等については、研修スケジュールの本講座（NO. 22）の前の欄に表示しておりますのでご参照ください。

